

令和3年度 生活科実践・研究計画

部 員	○稲垣 勇介, 石田 智之
-----	---------------

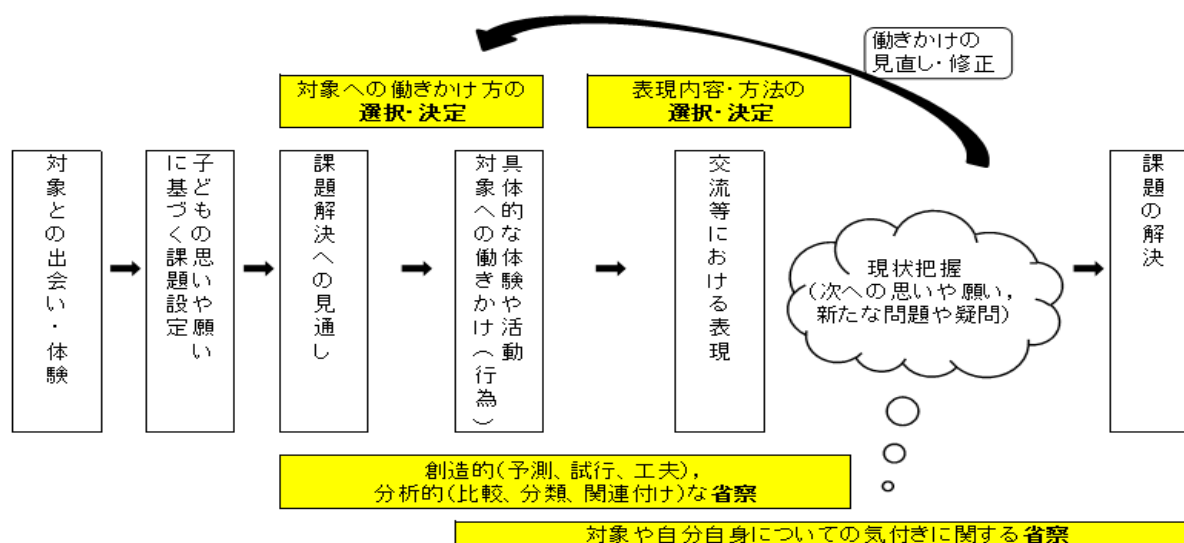
研究テーマ 対象に主体的に関わり続けながら、 気づきを深めていく子どもを育む学び
--

1 研究テーマについて

生活科では、3年次につなぐ昨年度の研究において、子どもの思いや願いに基づいて対象への働きかけを選択・決定できる学習活動、その中で、生活科における「見方・考え方」を自覚的に生かしながらの省察を単元の中に位置付けながら実践・研究を進めてきた。これにより、「見方・考え方」を学びの手段として自覚した状態で根拠をもって選択・決定する姿が見られ、発生した事象を見逃さずに、より質の高まった気づきを得ることにつながることを確かめることができた。また、自分の無自覚な気づきを他者からフィードバックしてもらったり、全体で気づきの共有をしたりすることにより、多様な「見方・考え方」の生かし方、それによりどのような気づきを得られるのかを自覚したことで、必要感をもって省察をしようとする姿も確かめることができた。一方で、活動の中で新たな思いや願いが生まれず、一定の活動後の自身の現状に満足してしまい、新たな課題を見つけて解決しようとするような、さらなる追究意欲を喚起するための省察への手立てには課題が残った。

これらを踏まえ、3年次も「対象に主体的に関わり続けながら、気づきを深めていく子どもを育む学び」の研究テーマを継続し、実践・研究を積み重ねていく。「対象に主体的に関わり続ける」とは、思いや願いの実現に向けて、試行錯誤を重ねながら繰り返し対象に働きかけていくことと考える。また、「気づきを深めていく」とは、対象へ働きかけていく中で、対象についてより詳しくなっていくこと、対象との関係が深まった自分自身に気付いたりしていくことと考える。

生活科では、研究主題の「自律した学習者」を、思いや願いをもって対象に主体的に関わり続けながら、対象や自分自身への気づきを深めている姿と捉える。また、研究副題の「学びをつなぐ」ことを、既習の学びを生かしたり、過去と現在の自分の比較や他者との交流をしたりすることを通して、次の活動への思いや願いを新たにもっている姿と捉える。気づきは次の自発的な活動を誘発するものである。子どもは他者の気づきに触れることで自分の気づきを見つめ直し、それによって対象に対する新たな気づきや疑問が子どもの中から生まれてくる。これが、次の活動への思いや願いとなり、子どもの主体的な活動の原動力となっていくのである。



図：生活科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

生活科で目指す「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」とは次のようなものである。

- ・対象と主体的に関わりながら、対象や自分自身への気づきを得ている姿
- ・自分の気づきを自覚し、それを友達と比べたり関連付けたりすることを通して、自分の気づきをさらに深めている姿
- ・対象と自分の関係を見つめ直して活動への新たな思いや願いをもったり、学んだことを基に生活を豊かにしようとしたりしている姿

2 研究の重点 <○は具体的な取組の例>

- (1) 自らの思いや願いを基に、対象や対象への働きかけ方を選択・決定できる単元構成の工夫
- 地域や学校の実状を踏まえた、子どもが働きかけたくなる様々な対象との出会いの場を設定する。
 - 対象に働きかける「行為」と自分自身や対象についての気づきを促す「省察」を繰り返し位置付ける。
 - 言葉や絵、動作や劇化等の多様な方法による気づきの表現と共有の場を設定する。
- (2) 「見方・考え方」を生かして、自分の気づきを自覚し、対象への働きかけの見通しをもつための省察につながる支援の工夫
- 対象への働きかけとそれによる対象の変化の様子を捉え、自身の願いの達成度合、新たに生まれる願いや課題を把握する現状把握を支援する。
 - ・教師や友達からのフィードバックを通じた気づきを自覚できる交流の場の設定
 - ・比較、分類、関連付け等による他者との気づきの交流の場の設定
 - ・ICT機器での撮影、画像のピンチインアウトやペイント等の機能活用の支援
 - 課題意識や働きかけの見通しをもつことを促す学び方を共有する場を設定する。
 - ・新たに生まれる願いや課題を共有し、解決するための働きかけ方を複数人で考える場の設定
 - ・異学年交流の設定

3 研究・研修計画

時 期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校公開研究協議会 (6/18) 提案授業 (稲垣：1C) ・附属幼稚園公開研究協議会 (6/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践・研究計画の立案 ・公開研に向けての指導案検討及び事前研究授業
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・研究リーフレット執筆 ※部内研修会を兼ねる ・幼小連携相互乗り入れ授業 ・附属幼稚園公開研究協議会 (11/11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践・研究のまとめ ・実践・研究計画の修正 ・研究会等の参加による研修と情報交換
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回校内研修会 (1/31) 提案授業 (石田：2C) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研に向けての指導案検討 ・次年度の課題検討 ・次年度の実践・研究計画の立案

通年：年間指導計画及び資質・能力表の加除・修正